



桑原樹 棋士

岩本薫記念益田杯を知っていますか？

岩本薫記念益田杯とは、島根県益田市の囲碁の名棋士・岩本薫九段を顕彰し、また、18歳以下の若手棋士の育成を目的に日本棋院主催で実施される大会です。第3回大会の決勝戦は岩本薫の出身地である益田市で開催されました。今回は令和7年度の決勝戦で激闘を繰り広げた2名の棋士にインタビューしました！



重川明司 棋士

重川明司二段 インタビュー

益田市 初めて益田市にお越しになった印象はいかがでしたか。

重川二段 空港から駅前へ移動する際の町並みがとてもきれいだった印象です。あと、ご飯がすごく美味しかったです。

益田市 大会当日の印象はどうでしたか。

重川二段 こんなに広い会場（グラントワ）で対局するのは初めてだったので驚きました。一番驚いたのは、会場に多くの方がいらっしやったことです。小ホールは400人の収容ですが、たくさんの方々が来場されていました。囲碁に対する皆さんの情熱をすごく感じました。

益田市 優勝した時のお気持ちは。

重川二段 対局直後は、正直なところ実感がありませんでした。しかし、親や先輩から「おめでとう」という連絡をもらいうちに、優勝したんだという実感が湧いてきました。終わった直後は緊張していたので、ひと安心という気持ちもありました。対局後のご飯がすごく美味しかったです。

益田市 今後の目標をお聞かせください。

重川二段 国内での成績を残したいのはもちろんですが、国際戦

にも出場予定です。中国のオープン戦の予選にも参加するので、世界でも戦えるようになることを目指しています。そうした目標に向けて、楽しみながら勉強していきたいと考えています。

益田市 最後に、益田市民の皆さんにメッセージをお願いします。

重川二段 実際に益田市に来てみて、囲碁に対する皆さんの情熱をすごく感じました。その情熱を変わず、さらに持ち続けていただきたいと思います。また、私の今後の対局をぜひ見て応援をしてもらえると嬉しいです。これからもよろしくお願いします。

桑原樹七段 インタビュー

益田市 初めて益田市にお越しになった印象はいかがでしたか。

桑原七段 飛行機から降りたときに、本当に自然が豊かだなと感じました。対局の前日に前夜祭があったのですが、益田市の皆さんが本当に温かくお出迎えしてくれてリラックスすることができました。ご飯も美味しかったです。

益田市 実際の決勝戦の時のお気持ちや、心に残ったことについてお聞かせください。

桑原七段 まず、対局させていただく環境（グラントワ）が素晴らしいかったです。普段はあのような場

所では対局できないので、対局でできること自体がとてもありがたく、良い環境で臨むことができた。

益田市 対局中盤で僅差に持ち込んだ局面がありました。その時の場面をどのように評価していますか。

桑原七段 中盤で自分が悪くしてしまったのですが、ところどころチャンスはあったと思っています。ただ、その中でうまく最善

トピックス

名棋士・岩本薫九段
(本因坊薫和)とは？

益田市出身の囲碁棋士。広瀬平治郎八段門下。

中盤の戦いに強く、序盤はあちこちに散在する石が徐々に関連して相手に圧力をかけてくるところから「豆まき碁」と呼ばれました。

昭和21年に本因坊になった後、囲碁の指導と普及に努め、日本の囲碁界の発展に大きな役割を果たしました。日本文化として、囲碁の海外普及にも力をつくし、益田市の名誉市民として名を残しています。

※詳しくはこちらをご覧ください▼



を尽くせなかったので、実戦では結果が出ませんでした。今思うと、逆に学びというか、これから活かせるような教訓になっています。この大会を通じて、多くの学びを得ることができました。

※インタビュー記事全文についてはこちらをご覧ください▼



今年も決勝戦を益田市内で実施します！

第4回 岩本薫記念益田杯 決勝戦

☆対局

日 9月20日(日) 12:00～

場 島根県芸術文化センター「グラントワ」スタジオ2

☆大盤解説会

日 9月20日(日) 12:00～

場 島根県芸術文化センター「グラントワ」スタジオ1

定員 100名程度

その他関連イベントも実施予定！

※詳しくはこちらをご覧ください▼

